

【工夫のポイント】

- 梨と露地野菜の園芸産地づくりに向けて、**水田の畑地化や舗装道路整備等の基盤整備**を実施。
- 地域の梨農家の話し合いにより、**地区外農家も加えた梨団地利用組合を設立**し、機械の共同利用等による**効率的な生産体制を確立**。
- 地域と町が連携し、**外部からの農業生産法人(企業)を誘致**。
- 農地バンクを活用し、**地区内農地の約9割を担い手に集積・集約化**。

【取組地域の概要】

○位置 はがぐんはがまち
栃木県芳賀郡芳賀町

栃木県



いなげた
稲毛田地区

○主要作物
・梨、キャベツ、ねぎ 等

○主な支援施策
・県営農地中間管理機構関連
農地整備事業 (R2~)
・産地生産基盤パワーアップ事業 (国庫)
(R2~)

基盤

園芸作物の生産拡大に向けて、基盤整備により耕作条件を改善

水田を含む地区内の**全ほ場を畑地化**し、かんがい施設の整備により用水の安定供給を図るとともに、**排水路の管路化や舗装道路の整備**により農地の排水性や集出荷等の利便性を向上させることで、**梨と露地野菜の生産が大幅に拡大**。



基盤整備
(R2年~)

【整備前】

地域内の**農地は狭小・不整形**で、**農道は狭い**ことから、**効率的な営農に支障**。



生産現場

農業生産法人を誘致しキャベツの生産を開始

- 地域と町が連携し、**外部から農業生産法人(企業)を誘致**。
- 整備された農地において、令和4年度は、約5haの畑地で**キャベツ等を生産**。



地域の取組

梨団地利用組合による梨の生産振興

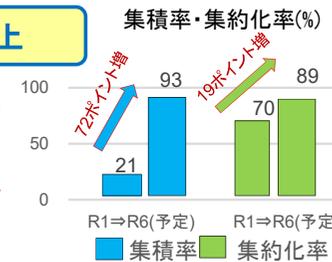
- 地域の梨農家の話し合いにより、地区外農家も加えた**稲毛田梨団地利用組合を設立**。
- ブランド梨「にっこり」の共同育苗、梨棚の設置、共同利用機械の導入等、**効率的な生産体制を確立**。
- 分散した既存の梨畑の集約と併せて新たに梨畑を造成し、**約7haの梨団地**が誕生。



担い手

農地バンクの活用による集積率の向上

- 農地バンクを活用し、担い手への農地集積率が大幅に向上。換地処分後(R6)に利用権設定し、地区内農地の**約9割を担い手に集積・集約化**。



園芸作物の生産拡大

- 地区全体で**園芸作物の作付面積が5.6ha(R1)から15.2ha(R4)に拡大**し、**生産額は25百万円(R1)から83百万円(R7)に増加**する見込み。

※梨は、基盤整備後(R3)に苗木を新植したため、R7年度頃に収穫を開始する予定。

園芸作物の生産額(百万円)

